



平成26年4月オープンの山名コミュニティハウス

2月
定例会

新年度の各会計予算はいずれも可決

市議会は、2月定例会を2月25日から3月24日までの28日間の会期で開催しました。今定例会では、平成25年度一般会計ほか3会計の補正予算をはじめ、平成26年度一般・特別・企業各会計予算、袋井市私債権等管理条例の制定など25議案が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、市政に対する一般質問では、14人の議員が市長の見解をたどしました。

◎議決した主な議案

平成26年度一般会計予算

新年度の予算額は、313億6000万円、前年度当初予算と比較すると4.9%（16億2000万円）の減額となります。

主な事業

●総合健康センター整備事業……………2億7788万円

聖隷袋井市民病院の療養病棟50床を秋に開設するための西館増改修。健康指導センター及び健康支援センターの平成27年4月開設に向け、整備工事の基本・実施設計。

●津波避難施設「平成の命山」整備事業…2億6343万円

中新田地区命山及び湊西地区命山の整備工事、東同笠・大野地区命山の地質調査・用地取得等。

●みつかわ夢の丘公園整備事業……………1億7739万円

公園の造成や施設整備工事、市営墓地の需要を把握するための市民意識調査を実施。平成27年度の開園（部分供用）を目指し条例や規則を整備。

●袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業……………1億3003万円

自由通路・駅舎新設工事に伴う新駅建築、仮駅舎解体工事。自由通路及び橋上駅舎は平成26年秋に供用開始。

●新総合体育館整備事業……………3985万円

整備構想をより具体化した基本計画を策定するとともに、各種調査委託や、民間資本の活用による整備運営手法について検討。用地取得に向けた協議。

●ブロック塀等耐震改修促進事業……………1000万円

緊急輸送路沿いや津波避難困難地域について、ブロック塀の撤去・改善への補助率を100%に拡大。